



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠エネクス株式会社

コード番号 8133 URL <https://www.itcenex.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 賢二

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 慎一郎 TEL 03-4233-8008

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前四半期利益		四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	148,181	△32.7	4,447	3.1	5,252	9.7	3,790	17.2	3,578	32.4	4,135	37.4
2020年3月期第1四半期	220,216	△2.7	4,312	9.5	4,787	6.5	3,234	0.8	2,701	6.2	3,009	△6.7

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	希薄化後1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	31.70	ー
2020年3月期第1四半期	23.93	ー

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	株主資本合計	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	381,701	152,745	129,657	34.0
2020年3月期	387,657	151,884	128,333	33.1

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	21.00	ー	23.00	44.00
2021年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年3月期（予想）	ー	22.00	ー	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業活動に係る利益		税引前利益		当社株主に帰属する当期純利益		基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
通期	710,000	△20.9	16,000	△16.9	16,700	△16.4	11,000	△8.8	97.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社の業績評価は通期ベースで作成しており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	116,881,106株	2020年3月期	116,881,106株
2021年3月期1Q	4,000,584株	2020年3月期	4,000,584株
2021年3月期1Q	112,880,522株	2020年3月期1Q	112,878,644株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	7
(2) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	14
(6) セグメント情報 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 当期の連結業績の概況

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言発出を機に、外出自粛や各自治体からの営業自粛要請等により個人消費が急速に減少し、経済活動が大幅に落ち込む、非常に厳しい状況が続きました。緊急事態宣言解除後も、回復に向けた動きは鈍く、将来の見通しについては極めて不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、社長を対策本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、全社的な対応方針並びに必要な施策の決定・遂行や、継続的な情報収集と社内外への情報発信により、適正な全社マネジメントを行っています。また、「従業員の安全」、「感染防止」を最優先事項とし、在宅勤務や時差出勤を活用し、感染リスクの低減を図るとともに、業務の遂行に必要な通信ネットワーク環境の整備を進め、業務効率化を図っております。

事業面におきましては、2019年4月に公表しました2ヵ年の中期経営計画『Moving2020 翔ける』に基づき、事業を推進しております。

## 中期経営計画の概要



## 1. 計画名称 :

2. 期間 : 2ヵ年(2019年度~2020年度)

## 3. 基本方針 : 『成長戦略の推進』

- ① 収益基盤の維持・深化 : グループシナジーの創出、顧客基盤の更なる活用
- ② 海外・周辺分野の開拓 : 海外事業への積極投資と周辺事業のM&A
- ③ 新規事業の創出 : 環境関連ビジネス等の推進

## 『組織基盤の進化』

- ① グループ経営の強化 : 連結経営管理の高度化と実効性のあるガバナンス体制の構築
- ② 成長を支える人材戦略 : ダイバーシティの推進及びグローバル人材の育成
- ③ イノベーションの推進 : 既存事業の効率化追求とデジタル技術活用

## 4. 定量計画(2020年度)(※1) :

- ① 当社株主に帰属する当期純利益 : 110億円
- ② 連結配当性向 : 40%以上
- ③ 実質営業キャッシュ・フロー(※2) : 200億円以上
- ④ 2年間累計投資額 : 430億円

(※1) 上記の定量計画は、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、2020年5月15日に見直しをしております。

(※2) 実質営業キャッシュ・フローとは、営業活動によるキャッシュ・フローから運転資金等を除いたものです。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

(単位 : 百万円)

	2020年度第1四半期 連結累計期間	2019年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	148,181	220,216	△72,035
営業活動に係る利益	4,447	4,312	135
当社株主に帰属する当期純利益	3,578	2,701	877

売上収益は1,481億8千1百万円（前年同期比32.7%の減少）となりました。これは主に、国内石油製品の原油価格の下落に伴う販売価格の下落や販売数量の減少によるものです。

営業活動に係る利益は44億4千7百万円（前年同期比3.1%の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は35億7千8百万円（前年同期比32.4%の増加）となりました。これは主に、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要で家庭用LPガス・電力の販売量が底堅く推移したこと、石油製品の輸出入事業における原油価格の変動を捉えたオペレーション、また営業経費の削減によるものです。

## ② 当期のセグメント別の概況

セグメント別の業績は、次のとおりであります。2020年4月1日に行った組織改編に伴い、報告セグメントを変更しております。当該組織改編により、「カーライフ事業部門」に含まれていた石油製品の輸出入事業及びタンクターミナル事業の区分を「産業ビジネス事業部門」に変更しております。

このため、前期との比較は、変更後の報告セグメントに基づき組み替えて行っております。

### 【ホームライフ事業】

(単位：百万円)

	2020年度第1四半期 連結累計期間	2019年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	15,766	19,819	△4,053
営業活動に係る利益	57	555	△498
当社株主に帰属する当期純利益	173	501	△328

当第1四半期連結累計期間におけるホームライフ事業部門は、LPガス事業におきましては、感染拡大防止の観点から対面での営業活動の自粛により、直売顧客軒数は前期末に比べ微減の約550,000軒となりました。LPガス販売数量は、外出自粛による巣ごもり需要が発生したことにより、家庭用需要は拡大しました。一方で、業務用や工業用、タクシー向けオートガスについては、休業要請や供給先である工場の稼働率低下の影響により需要が大きく減少し、LPガス販売数量は前年同期を下回りました。

家庭向け電力販売事業におきましては、顧客件数は約96,000軒となりました。

産業ガス販売事業におきましては、供給先工場等の稼働率低下の影響により、販売数量は前年同期を下回りました。

このような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上収益は157億6千6百万円（前年同期比20.5%の減少）となりました。これは主に、LPガス輸入価格下落に伴う販売価格の下落や経済活動の低迷によるLPガス及び産業ガス販売数量の減少によるものです。

営業活動に係る利益は5千7百万円（前年同期比89.7%の減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は1億7千3百万円（前年同期比65.5%の減少）となりました。これは主に、LPガス輸入価格下落に伴う在庫影響やLPガス及び産業ガス販売数量の減少によるものです。

### 【カーライフ事業】

(単位：百万円)

	2020年度第1四半期 連結累計期間	2019年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	81,876	126,054	△44,178
営業活動に係る利益	910	1,928	△1,018
当社株主に帰属する当期純利益	633	1,042	△409

当第1四半期連結累計期間におけるカーライフ事業部門は、CS(※3)事業におきましては、CS数が前期末より2ヵ所減少し、1,702ヵ所となりました。石油製品の販売数量は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や経済活動の低迷によりガソリンや軽油の販売数量が減少し、前年同期を下回りました。一方で、石油製品の小売市況は引き続き堅調に推移しました。

自動車関連事業におきましては、自動車ディーラー事業を行っている子会社の大阪カーライフグループでは、新型コロナウイルス感染症の影響による店舗の営業時間短縮等により、来店客数が減少した結果、販売台数は前年同期を下回りました。

このような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上収益は818億7千6百万円（前年同期比35.0%の減少）となりました。これは主に、石油製品の原油価格下落による販売価格の下落と販売数量の減少によるものです。

営業活動に係る利益は9億1千万円（前年同期比52.8%の減少）、当社株主に帰属する四半期純利益は6億3千3百万円（前年同期比39.3%の減少）となりました。これは主に、石油製品の販売数量の減少と自動車ディーラー事業の販売台数の減少やサービス収益の減少によるものです。

（※3）CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所です。

### 【産業ビジネス事業】

（単位：百万円）

	2020年度第1四半期 連結累計期間	2019年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	32,262	50,035	△17,773
営業活動に係る利益	1,730	256	1,474
当社株主に帰属する当期純利益	1,539	191	1,348

当第1四半期連結累計期間における産業ビジネス事業部門は、産業用燃料販売事業及び法人向け自動車用燃料給油カード事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による供給先である工場等の稼働率低下や営業車の給油カード利用の減少により、販売数量は前年同期を下回りました。アスファルト事業におきましては、販売数量は前年同期を上回りましたが、原油価格の下落に伴う在庫影響を受け、収益は前年同期を下回りました。船舶燃料販売事業では、国内外で既存先のシェア拡大を進め、販売数量は前年同期を上回りました。石油製品の輸出入事業におきましては、原油価格の変動を捉えたオペレーションが奏功し、収益は前年同期を上回りました。

このような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上収益は322億6千2百万円（前年同期比35.5%の減少）となりました。これは主に、産業用石油製品の原油価格の下落に伴う販売価格の下落や販売数量の減少によるものです。

営業活動に係る利益は17億3千万円（前年同期比575.8%の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は15億3千9百万円（前年同期比705.8%の増加）となりました。これは主に、石油製品の輸出入事業における原油価格の変動を捉えたオペレーションと営業経費の削減によるものです。

### 【電力・ユーティリティ事業】

（単位：百万円）

	2020年度第1四半期 連結累計期間	2019年度第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	18,277	24,308	△6,031
営業活動に係る利益	1,472	1,351	121
当社株主に帰属する当期純利益	1,111	895	216

当第1四半期連結累計期間における電力・ユーティリティ事業部門は、電力事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により電力供給先である店舗・工場等の稼働率が低下したこと、また法人向け大規模高圧契約の減少も重なり、高圧販売量は前年同期比で減少しました。

一方、在宅率の向上により家庭用電力の消費量が増加したことに加え、家庭向けを中心とした低圧契約件数が増加したことにより、低圧販売量は前年同期比で増加しました。全体では法人向け大規模高圧契約の減少が大きく、小売電力販売量は前年同期を下回りました。

熱供給事業（※4）におきましては、気温は前年同期に比べ高く推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により熱供給先のテナント休業が発生したことが影響し熱需要は前年同期を下回りました。

このような活動の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上収益は182億7千7百万円（前年同期比24.8%の減少）となりました。これは主に、電力事業の販売・需給分野における卸売販売量の減少によるものです。

営業活動に係る利益は14億7千2百万円（前年同期比9.0%の増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は11億1千1百万円（前年同期比24.1%の増加）となりました。これは主に、発電領域において昨年度実施していた大型の定期修理が完了し、当年度は稼働率が上昇したことによるものです。

（※4）熱供給事業とは、熱源プラントから複数の建物、オフィスビル等に、冷房・暖房等に使用する冷水・温水を導管で供給する事業です。

## (2) 財政状態に関する説明

## 【資産、負債及び資本の状況】

(単位：百万円)

	2020年6月末	2020年3月末	増減
資産合計	381,701	387,657	△5,956
負債合計	228,956	235,773	△6,817
資本合計	152,745	151,884	861

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して59億5千6百万円減少し、3,817億1百万円となりました。これは主に、季節要因や原油価格の下落に伴う販売価格の下落により営業債権が225億3千4百万円減少したことによるものです。また負債合計は、前連結会計年度末と比較して68億1千7百万円減少し、2,289億5千6百万円となりました。これは主に、季節要因や原油価格の下落に伴う仕入価格の下落により営業債務が155億2千4百万円減少したことによるものです。資本合計は、当社株主に帰属する四半期純利益による35億7千8百万円増加及び配当金支払いによる32億7千4百万円減少等により前連結会計年度末と比較して8億6千1百万円増加の1,527億4千5百万円となりました。

## 【キャッシュ・フローの状況】

当社グループでは、2020年度当社株主に帰属する当期純利益110億円を目標とし、コア事業から生みだされたキャッシュ・フローをもとに新規事業への積極的な投資を進めております。今後もグループ経営をさらに進化させ、バランスの取れた資産ポートフォリオを形成するとともに、事業間のシナジーが創出できる体制を構築していきます。

当面の資金調達余力につきましても、潤沢な現金及び現金同等物に加え、十分な当座貸越枠並びに社債（CP）発行枠を確保しております。また、これまでも健全な水準を維持してきたネットDERは△0.10倍となっており、実質無借金となっております。

(単位：百万円)

	2020年度第1四半期 連結累計期間	2019年度第1四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	16,317	△4,129	20,446
投資活動による キャッシュ・フロー	8,452	△196	8,648
(フリー・キャッシュ・ フロー)	(24,769)	(△4,325)	(29,094)
財務活動による キャッシュ・フロー	2,928	4,460	△1,532
現金及び現金同等物の増減	27,697	135	27,562
為替相場の変動による現金 及び現金同等物への影響額	△8	2	△10
現金及び現金同等物の四半 期末残高	46,932	18,862	28,070

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して276億8千9百万円増加の469億3千2百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

(単位:百万円)

	2020年度第1四半期 連結累計期間	2019年度第1四半期 連結累計期間	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	16,317	△4,129	20,446
運転資金等の増減	8,818	△10,245	19,063
実質営業キャッシュ・ フロー	7,499	6,116	1,383

営業活動の結果得られた資金は163億1千7百万円となりました。これは主に、税引前四半期利益52億5千2百万円、減価償却費等49億7百万円、売買所要資金75億8百万円の増加等によるものです。なお、獲得した資金は前年同期比204億4千6百万円増加しております。また、実質営業キャッシュ・フローにつきましても前年同期比で13億8千3百万円上回りました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当社グループでは、これまでも投資戦略に基づき常に資本効率を意識した投資を進めております。2019年度～2020年度の2ヵ年においてはキャッシュを生み出す重要な収益基盤の維持・深化に170億円、電力・ユーティリティ部門を中心とした海外・周辺分野、新規事業に対して260億円の投資を計画しております。

投資活動により得られた資金は84億5千2百万円となりました。貸付による支出2億9千万円、電力・ユーティリティ事業を中心とする有形固定資産及び投資不動産の取得による支出23億1千5百万円、無形資産の取得による支出3億8千万円等に使用した一方、投資(持分法で会計処理されている投資を含む)の売却及び償還による収入2億9千9百万円、預け金の減少による収入110億2千1百万円等により資金が得られました。なお、使用した資金は前年同期比86億4千8百万円減少しております。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当社グループでは、企業価値向上に向けグループ全体での財務活動の効率化を目指しております。グループ金融制度(※)の導入等によりグループ全体での財務マネジメントを強化した結果、財務活動により得られた資金は29億2千8百万円となりました。これは主に、新型コロナウイルス感染症対応に伴う短期社債(CP)及び借入金による調達額100億円、リース負債の返済による支出28億3千7百万円、当社株主への配当金の支払額25億9千9百万円等によるものです。なお、獲得した資金は前年同期比15億3千2百万円減少しております。

(※) グループ金融制度とはグループ間で資金を融通しあうことで資金管理・調達コストを効率化する制度です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の通期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響が第2四半期以降も依然として不透明であるため、2020年5月15日の発表より変更していません。



## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2020年6月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,243	46,932
営業債権	86,911	64,377
その他の短期金融資産	28,095	18,087
棚卸資産	24,263	23,813
未収法人所得税	98	725
前渡金	128	83
その他の流動資産	2,502	1,966
流動資産合計	161,240	155,983
非流動資産		
持分法で会計処理されている投資	31,583	31,119
その他の投資	3,860	4,061
投資以外の長期金融資産	11,942	11,967
有形固定資産	132,870	134,267
投資不動産	13,147	12,919
のれん	521	521
無形資産	20,005	19,786
繰延税金資産	10,374	9,039
その他の非流動資産	2,115	2,039
非流動資産合計	226,417	225,718
資産合計	387,657	381,701

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2020年6月30日)
(負債及び資本の部)		
流動負債		
社債及び借入金(短期)	7,024	16,332
営業債務	83,936	68,412
リース負債	9,591	10,216
その他の短期金融負債	6,216	8,348
未払法人所得税	4,172	2,288
前受金	9,437	9,029
その他の流動負債	12,848	11,393
流動負債合計	133,224	126,018
非流動負債		
社債及び借入金(長期)	18,156	17,865
リース負債	52,713	53,942
その他の長期金融負債	14,225	14,043
退職給付に係る負債	10,335	10,436
繰延税金負債	1,721	1,216
引当金	5,255	5,228
その他の非流動負債	144	208
非流動負債合計	102,549	102,938
負債合計	235,773	228,956
資本		
資本金	19,878	19,878
資本剰余金	18,934	18,934
利益剰余金	92,761	93,740
その他の資本の構成要素	△1,370	△1,025
自己株式	△1,870	△1,870
株主資本合計	128,333	129,657
非支配持分	23,551	23,088
資本合計	151,884	152,745
負債及び資本合計	387,657	381,701

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上収益	220,216	148,181
売上原価	△199,545	△127,824
売上総利益	20,671	20,357
その他の収益及び費用		
販売費及び一般管理費	△16,476	△15,870
固定資産に係る損益	△61	△27
その他の損益	178	△13
その他の収益及び費用合計	△16,359	△15,910
営業活動に係る利益	4,312	4,447
金融収益及び金融費用		
受取利息	16	11
受取配当金	58	464
支払利息	△297	△274
その他の金融損益	△36	10
金融収益及び金融費用合計	△259	211
持分法による投資損益	734	594
税引前四半期利益	4,787	5,252
法人所得税費用	△1,553	△1,462
四半期純利益	3,234	3,790
四半期純利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期純利益	2,701	3,578
非支配持分に帰属する四半期純利益	533	212
計	3,234	3,790

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振替えられることのない項目		
FVTOCI金融資産	44	125
持分法適用会社におけるその他の包括利益	9	9
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1	8
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△15	10
持分法適用会社におけるその他の包括利益	△262	193
その他の包括利益(税効果控除後)計	△225	345
四半期包括利益	3,009	4,135
四半期包括利益の帰属		
当社株主に帰属する四半期包括利益	2,476	3,923
非支配持分に帰属する四半期包括利益	533	212
計	3,009	4,135

(単位：円)

1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		
基本的	23.93	31.70
希薄化後	—	—

(単位：百万円)

売上高	274,365	182,121
-----	---------	---------

(注) 売上高は、日本の会計慣行に基づいた金額であります。投資家の便宜を考慮し、当社が任意に開示する項目であり、IFRSで求められているものではありません。

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2019年4月1日残高	19,878	18,922	86,769	△1,406	△1,873	122,290	22,276	144,566
会計方針の変更による累積的影響額			△1,146			△1,146	△389	△1,535
会計方針の変更を反映した当期首残高	19,878	18,922	85,623	△1,406	△1,873	121,144	21,887	143,031
四半期純利益			2,701			2,701	533	3,234
その他の包括利益				△225		△225	0	△225
四半期包括利益			2,701	△225		2,476	533	3,009
所有者との取引額								
配当金			△2,486			△2,486	△419	△2,905
子会社持分の追加取得及び売却による増減等						-	△30	△30
2019年6月30日残高	19,878	18,922	85,838	△1,631	△1,873	121,134	21,971	143,105

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					株主資本 合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式			
2020年4月1日残高	19,878	18,934	92,761	△1,370	△1,870	128,333	23,551	151,884
会計方針の変更による累積的影響額						-		-
会計方針の変更を反映した当期首残高	19,878	18,934	92,761	△1,370	△1,870	128,333	23,551	151,884
四半期純利益			3,578			3,578	212	3,790
その他の包括利益				345		345	0	345
四半期包括利益			3,578	345		3,923	212	4,135
所有者との取引額								
配当金			△2,599			△2,599	△675	△3,274
子会社持分の追加取得及び売却による増減等						-		-
2020年6月30日残高	19,878	18,934	93,740	△1,025	△1,870	129,657	23,088	152,745

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,787	5,252
減価償却費等	4,778	4,907
固定資産に係る損益	61	27
金融収益及び金融費用	259	△211
持分法による投資損益	△734	△594
営業債権の増減	16,052	22,582
棚卸資産の増減	6,186	450
営業債務の増減	△30,215	△15,524
その他－純額	△2,268	1,310
配当金の受取額	628	1,597
利息の受取額	10	10
利息の支払額	△269	△228
法人所得税の支払額	△3,404	△3,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,129	16,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の取得による支出	△2,806	△170
投資（持分法で会計処理される投資を含む）の売却及び償還による収入	—	299
子会社の取得による支出（取得時の現金受入額控除後）	△5,566	—
貸付による支出	△113	△290
貸付金の回収による収入	195	258
有形固定資産及び投資不動産の取得による支出	△2,581	△2,315
有形固定資産及び投資不動産の売却による収入	197	291
無形資産の取得による支出	△146	△380
無形資産の売却による収入	—	113
預け金の増減－純額	10,000	11,021
その他－純額	624	△375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196	8,452

(単位:百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び借入金による調達額	—	10,000
社債及び借入金の返済額	△5,433	△363
リース負債の返済による支出	△2,522	△2,837
短期借入金の増減—純額	15,350	△598
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△30	—
当社株主への配当金の支払額	△2,486	△2,599
非支配持分への配当金の支払額	△419	△675
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,460	2,928
現金及び現金同等物の増減額	135	27,697
現金及び現金同等物の期首残高	18,725	19,243
為替相場の変動による現金及び現金同等物への影響額	2	△8
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,862	46,932

## (5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (6) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
売上収益							
外部顧客からの収益	19,819	126,054	50,035	24,308	220,216	—	220,216
セグメント間収益	73	1,877	727	796	3,473	△3,473	—
売上収益合計	19,892	127,931	50,762	25,104	223,689	△3,473	220,216
売上総利益	5,270	11,339	1,417	2,645	20,671	—	20,671
営業活動に係る利益	555	1,928	256	1,351	4,090	222	4,312
税引前四半期利益	868	1,862	277	1,631	4,638	149	4,787
当社株主に帰属する 四半期純利益	501	1,042	191	895	2,629	72	2,701
その他の項目							
資産合計	63,355	154,191	52,885	99,955	370,386	29,632	400,018
売上高	22,393	133,323	93,643	25,006	274,365	—	274,365

(注) セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額72百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額29,632百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

売上高は当社が任意で開示する項目であり、日本の会計慣行における売上高を表示しております。



当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
売上収益							
外部顧客からの収益	15,766	81,876	32,262	18,277	148,181	—	148,181
セグメント間収益	1	1,258	1,256	933	3,448	△3,448	—
売上収益合計	15,767	83,134	33,518	19,210	151,629	△3,448	148,181
売上総利益	4,630	10,390	2,723	2,614	20,357	—	20,357
営業活動に係る利益	57	910	1,730	1,472	4,169	278	4,447
税引前四半期利益	278	809	2,179	1,741	5,007	245	5,252
当社株主に帰属する 四半期純利益	173	633	1,539	1,111	3,456	122	3,578
その他の項目							
資産合計	61,749	139,230	43,998	93,708	338,685	43,016	381,701
売上高	17,183	90,367	54,017	20,554	182,121	—	182,121

(注) セグメント間の取引は、市場価格を参考にして決定しております。

当社株主に帰属する四半期純利益の調整額122百万円は、報告セグメントに配分していない全社損益であります。

資産合計の調整額43,016百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

売上高は当社が任意で開示する項目であり、日本の会計慣行における売上高を表示しております。

前連結会計年度末(2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額	連結
	ホームライフ 事業	カーライフ 事業	産業ビジネス 事業	電力・ユー ティリティ 事業			
資産合計	67,240	148,253	49,277	91,921	356,691	30,966	387,657

(注) 資産合計の調整額30,966百万円は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当第1四半期連結会計期間において、「カーライフ事業部門」に含まれていた石油製品の輸出入事業及びタンクターミナル事業の区分を「産業ビジネス事業部門」に変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度末のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分により組み替えて表示しております。